

令和元年度 土地改良事業等工事積算基準 の訂正（第1回）

土地改良事業等適用標準歩掛

- B 土工
- C 共通工
- S 営農飲雑用水施設工

正 誤 表 (第 1 回)

正	誤	備 考																				
<p style="text-align: center;">B 土 工</p> <p>B～1020 人力まき出し</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工歩掛</p> <p style="text-align: center;">表 2-1 人力まき出し歩掛 (10 m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="172 640 1329 777"> <thead> <tr> <th rowspan="2">土質名</th> <th>区 分</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>人力まき出し 普通作業員 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂 ・ 砂 質 土</td> <td style="text-align: center;">0.68</td> <td></td> </tr> <tr> <td>粘 性 土 ・ レ キ 質 土</td> <td style="text-align: center;">0.85</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) 歩掛対象土量は、仕上がり数量とする。 (注 2) 機械投入が必要な場合は、「B～0810 土工 3-7 積込 (ルーズ)」とする。機種は、クローラ型 山積 0.8 m³を標準とする。</p> <p>【省略】</p> <p>B～1200 すき取り土法覆基材工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 施工歩掛</p> <p>3-1 すき取り土法覆 【省略】</p> <p>3-2 すき取り土積込 (仮置きしたものを積込) 「<u>B～0810 土工 3-7 積込 (ルーズ)</u>」を適用する。</p> <p>3-3 すき取り土運搬 (搬出、搬入) 「<u>B～0810 土工 3-2 土砂等運搬</u>」を適用する。</p> <p>【省略】</p>	土質名	区 分	摘 要	人力まき出し 普通作業員 (人)	砂 ・ 砂 質 土	0.68		粘 性 土 ・ レ キ 質 土	0.85		<p style="text-align: center;">B 土 工</p> <p>B～1020 人力まき出し</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工歩掛</p> <p style="text-align: center;">表 2-1 人力まき出し歩掛 (10 m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="1427 640 2585 777"> <thead> <tr> <th rowspan="2">土質名</th> <th>区 分</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>人力まき出し 普通作業員 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂 ・ 砂 質 土</td> <td style="text-align: center;">0.68</td> <td></td> </tr> <tr> <td>粘 性 土 ・ レ キ 質 土</td> <td style="text-align: center;">0.85</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) 歩掛対象土量は、仕上がり数量とする。 (注 2) 機械投入が必要な場合は、「B～0810 土工 3-6 積込 (ルーズ)」とする。機種は、クローラ型 山積 0.8 m³を標準とする。</p> <p>【省略】</p> <p>B～1200 すき取り土法覆基材工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 施工歩掛</p> <p>3-1 すき取り土法覆 【省略】</p> <p>3-2 すき取り土積込 (仮置きしたものを積込) 「<u>B～3020 機械土工 (土砂) 2-2 バックホウの作業能力 ルーズな状態の積込</u>」を適用する。</p> <p>3-3 すき取り土運搬 (搬出、搬入) 「<u>B～3020 機械土工 (土砂) 2-5 ダンプトラックの運搬作業</u>」を適用する。</p> <p>【省略】</p>	土質名	区 分	摘 要	人力まき出し 普通作業員 (人)	砂 ・ 砂 質 土	0.68		粘 性 土 ・ レ キ 質 土	0.85		<p>字句の訂正</p> <p>字句の訂正</p> <p>字句の訂正</p>
土質名		区 分		摘 要																		
	人力まき出し 普通作業員 (人)																					
砂 ・ 砂 質 土	0.68																					
粘 性 土 ・ レ キ 質 土	0.85																					
土質名	区 分	摘 要																				
	人力まき出し 普通作業員 (人)																					
砂 ・ 砂 質 土	0.68																					
粘 性 土 ・ レ キ 質 土	0.85																					

正 誤 表 (第 1 回)

正	誤	備 考
<p>B～3100 土の締固め作業</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 機種を選定 施工幅員による機種を選定については、「B～3000 機械施工の積算基準 表 <u>1-2-2</u> 機種選定表（路床・路体・築堤）を標準とする。 【省略】</p>	<p>B～3100 土の締固め作業</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 機種を選定 施工幅員による機種を選定については、「B～3000 機械施工の積算基準 表 <u>1-3-2</u> 機種選定表（路床・路体・築堤）を標準とする。 【省略】</p>	<p>字句の訂正</p>

正	誤	備 考																		
<p>C 共 通 工</p> <p>C～1400 プレキャスト集水桝</p> <p>① プレキャスト集水桝据付（質量 50 kgを超え、2,800 kg/基以下） 【省略】</p> <p>② プレキャスト集水桝据付（質量 2,800 kgを超え、4,000 kg/基以下）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 機種を選定 使用する機械・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">規格区分</th> <th style="text-align: center;">機械名</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>質量 2,800 kg/基を超え // 2,900 kg/基以下</td> <td>バックホウ (クレーン機能付)</td> <td>排出ガス対策型（第 1 次基準値） クローラ型 山積 0.8 m³（平積 0.6 m³） 2.9 t 吊</td> </tr> <tr> <td>質量 2,900 kg/基を超え // 4,000 kg/基以下</td> <td>ラフテレーン クレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型 16 t 吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) バックホウ（クレーン機能付）は「クレーン等安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械である。</p> <p>(注 2) ラフテレーンクレーンは賃料とする。</p> <p>【省略】</p>	規格区分	機械名	規 格	質量 2,800 kg/基を超え // 2,900 kg/基以下	バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型（第 1 次基準値） クローラ型 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ） 2.9 t 吊	質量 2,900 kg/基を超え // 4,000 kg/基以下	ラフテレーン クレーン	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊	<p>C 共 通 工</p> <p>C～1400 プレキャスト集水桝</p> <p>① プレキャスト集水桝据付（質量 50 kgを超え、2,800 kg/基以下） 【省略】</p> <p>② プレキャスト集水桝据付（質量 2,800 kgを超え、4,000 kg/基以下）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 機種を選定 使用する機械・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">規格区分</th> <th style="text-align: center;">機械名</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>質量 2,800 kg/基を超え // 2,900 kg/基以下</td> <td>バックホウ (クレーン機能付)</td> <td>排出ガス対策型（第 1 次基準値） クローラ型 山積 0.8 m³（平積 0.6 m³） 2.9 t 吊</td> </tr> <tr> <td>質量 2,900 kg/基を超え // 4,000 kg/基以下</td> <td>ラフテレーン クレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型 16 t 吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) <u>人力による場合で持上げ高さが 2m以上の時は別途考慮する。</u></p> <p>(注 2) バックホウ（クレーン機能付）は「クレーン等安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械である。</p> <p>(注 3) ラフテレーンクレーンは賃料とする。</p> <p>【省略】</p>	規格区分	機械名	規 格	質量 2,800 kg/基を超え // 2,900 kg/基以下	バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型（第 1 次基準値） クローラ型 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ） 2.9 t 吊	質量 2,900 kg/基を超え // 4,000 kg/基以下	ラフテレーン クレーン	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊	<p>字句の削除 字句の訂正 字句の訂正</p>
規格区分	機械名	規 格																		
質量 2,800 kg/基を超え // 2,900 kg/基以下	バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型（第 1 次基準値） クローラ型 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ） 2.9 t 吊																		
質量 2,900 kg/基を超え // 4,000 kg/基以下	ラフテレーン クレーン	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊																		
規格区分	機械名	規 格																		
質量 2,800 kg/基を超え // 2,900 kg/基以下	バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型（第 1 次基準値） クローラ型 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ） 2.9 t 吊																		
質量 2,900 kg/基を超え // 4,000 kg/基以下	ラフテレーン クレーン	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊																		

正 誤 表 (第 1 回)

正	誤	備 考																																																																																												
<p>2-2 鋳鉄管継手取外し</p> <p>鋳鉄管継手取外し歩掛は、次表の補正対象歩掛に補正係数を乗じて算出する。</p> <p style="text-align: center;">表 2-2 鋳鉄管継手取外し歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">管 種</th> <th style="width: 15%;">補正対象歩掛</th> <th style="width: 15%;">補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="9">鋳鉄管</td> <td>K 形</td> <td rowspan="3">0.60</td> </tr> <tr> <td>フランジ</td> </tr> <tr> <td>T 形</td> </tr> <tr> <td>NS 形 E 種 直管</td> <td>75~150</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>NS 形 E 種 異形管</td> <td>75~150</td> <td>0.80</td> </tr> <tr> <td>NS 形 E 種 N-Link</td> <td>75~150</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>GX 形 直管</td> <td>75~400</td> <td>2.30</td> </tr> <tr> <td>GX 形 異形管</td> <td>75~400</td> <td>2.50</td> </tr> <tr> <td>GX 形 P-Link</td> <td>75~300</td> <td>1.80</td> </tr> <tr> <td>GX 形 G-Link</td> <td>75~300</td> <td>1.60</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>2-3 撤去管吊上げ積込み</p> <p>撤去管の吊上げ積込み歩掛は、次表の補正対象歩掛に補正係数を乗じて算出する。</p> <p style="text-align: center;">表 2-3 撤去管吊上げ積込み歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">撤去管種</th> <th style="width: 40%;">補正対象歩掛</th> <th style="width: 40%;">補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">鋳鉄管</td> <td>「S~1000 鋳鉄管吊込み据付(機械力)」歩掛表</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>「S~1100 鋳鉄管吊込み据付(人力)」歩掛表</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>鋼管</td> <td>「S~1500 小口径鋼管(ねじ込み継手)布設」歩掛表</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>硬質塩化ビニル管</td> <td>「S~1600 硬質塩化ビニル管布設」歩掛表の据付工</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>ポリエチレン管</td> <td>「S~1700 ポリエチレン管人力布設」歩掛表の据付工</td> <td>0.60</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	管 種	補正対象歩掛	補正係数	鋳鉄管	K 形	0.60	フランジ	T 形	NS 形 E 種 直管	75~150	2.5	NS 形 E 種 異形管	75~150	0.80	NS 形 E 種 N-Link	75~150	1.00	GX 形 直管	75~400	2.30	GX 形 異形管	75~400	2.50	GX 形 P-Link	75~300	1.80	GX 形 G-Link	75~300	1.60	撤去管種	補正対象歩掛	補正係数	鋳鉄管	「S~1000 鋳鉄管吊込み据付(機械力)」歩掛表	0.60	「S~1100 鋳鉄管吊込み据付(人力)」歩掛表	0.60	鋼管	「S~1500 小口径鋼管(ねじ込み継手)布設」歩掛表	0.60	硬質塩化ビニル管	「S~1600 硬質塩化ビニル管布設」歩掛表の据付工	0.60	ポリエチレン管	「S~1700 ポリエチレン管人力布設」歩掛表の据付工	0.60	<p>2-2 鋳鉄管継手取外し</p> <p>鋳鉄管継手取外し歩掛は、次表の補正対象歩掛に補正係数を乗じて算出する。</p> <p style="text-align: center;">表 2-2 鋳鉄管継手取外し歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">管 種</th> <th style="width: 15%;">補正対象歩掛</th> <th style="width: 15%;">補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">鋳鉄管</td> <td>K 形</td> <td rowspan="3">0.60</td> </tr> <tr> <td>フランジ</td> </tr> <tr> <td>T 形</td> </tr> <tr> <td>NS 形 E 種 直管</td> <td>75~150</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>NS 形 E 種 異形管</td> <td>75~150</td> <td>0.80</td> </tr> <tr> <td>NS 形 E 種 N-Link</td> <td>75~150</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>GX 形 直管</td> <td>75~400</td> <td>2.30</td> </tr> <tr> <td>GX 形 異形管</td> <td>75~400</td> <td>2.50</td> </tr> <tr> <td>GX 形 P-Link</td> <td>75~300</td> <td>1.80</td> </tr> <tr> <td>GX 形 G-Link</td> <td>75~300</td> <td>1.60</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>2-3 撤去管吊上げ積込み</p> <p>撤去管の吊上げ積込み歩掛は、次表の補正対象歩掛に補正係数を乗じて算出する。</p> <p style="text-align: center;">表 2-3 撤去管吊上げ積込み歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">撤去管種</th> <th style="width: 40%;">補正対象歩掛</th> <th style="width: 40%;">補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">鋳鉄管</td> <td>「吊込み据付(機械力)」歩掛表</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>「吊込み据付(人力)」歩掛表</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>鋼管</td> <td>「小口径鋼管(ねじ込み継手)布設」歩掛表</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>硬質塩化ビニル管</td> <td>「硬質塩化ビニル管布設」歩掛表の据付工</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>ポリエチレン管</td> <td>「ポリエチレン管布設」歩掛表の据付工</td> <td>0.60</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	管 種	補正対象歩掛	補正係数	鋳鉄管	K 形	0.60	フランジ	T 形	NS 形 E 種 直管	75~150	2.5	NS 形 E 種 異形管	75~150	0.80	NS 形 E 種 N-Link	75~150	1.00	GX 形 直管	75~400	2.30	GX 形 異形管	75~400	2.50	GX 形 P-Link	75~300	1.80	GX 形 G-Link	75~300	1.60	撤去管種	補正対象歩掛	補正係数	鋳鉄管	「吊込み据付(機械力)」歩掛表	0.60	「吊込み据付(人力)」歩掛表	0.60	鋼管	「小口径鋼管(ねじ込み継手)布設」歩掛表	0.60	硬質塩化ビニル管	「硬質塩化ビニル管布設」歩掛表の据付工	0.60	ポリエチレン管	「ポリエチレン管布設」歩掛表の据付工	0.60	<p>表内、字句の訂正</p> <p>表内、字句の訂正</p>
管 種	補正対象歩掛	補正係数																																																																																												
鋳鉄管	K 形	0.60																																																																																												
	フランジ																																																																																													
	T 形																																																																																													
	NS 形 E 種 直管	75~150	2.5																																																																																											
	NS 形 E 種 異形管	75~150	0.80																																																																																											
	NS 形 E 種 N-Link	75~150	1.00																																																																																											
	GX 形 直管	75~400	2.30																																																																																											
	GX 形 異形管	75~400	2.50																																																																																											
	GX 形 P-Link	75~300	1.80																																																																																											
GX 形 G-Link	75~300	1.60																																																																																												
撤去管種	補正対象歩掛	補正係数																																																																																												
鋳鉄管	「S~1000 鋳鉄管吊込み据付(機械力)」歩掛表	0.60																																																																																												
	「S~1100 鋳鉄管吊込み据付(人力)」歩掛表	0.60																																																																																												
鋼管	「S~1500 小口径鋼管(ねじ込み継手)布設」歩掛表	0.60																																																																																												
硬質塩化ビニル管	「S~1600 硬質塩化ビニル管布設」歩掛表の据付工	0.60																																																																																												
ポリエチレン管	「S~1700 ポリエチレン管人力布設」歩掛表の据付工	0.60																																																																																												
管 種	補正対象歩掛	補正係数																																																																																												
鋳鉄管	K 形	0.60																																																																																												
	フランジ																																																																																													
	T 形																																																																																													
	NS 形 E 種 直管	75~150	2.5																																																																																											
	NS 形 E 種 異形管	75~150	0.80																																																																																											
	NS 形 E 種 N-Link	75~150	1.00																																																																																											
	GX 形 直管	75~400	2.30																																																																																											
	GX 形 異形管	75~400	2.50																																																																																											
	GX 形 P-Link	75~300	1.80																																																																																											
	GX 形 G-Link	75~300	1.60																																																																																											
撤去管種	補正対象歩掛	補正係数																																																																																												
鋳鉄管	「吊込み据付(機械力)」歩掛表	0.60																																																																																												
	「吊込み据付(人力)」歩掛表	0.60																																																																																												
鋼管	「小口径鋼管(ねじ込み継手)布設」歩掛表	0.60																																																																																												
硬質塩化ビニル管	「硬質塩化ビニル管布設」歩掛表の据付工	0.60																																																																																												
ポリエチレン管	「ポリエチレン管布設」歩掛表の据付工	0.60																																																																																												

正 誤 表 (第 1 回)

正	誤	備 考
---	---	-----